

さぬき市文化協会

組織

今年の最重要課題は、組織づくりの根本である会員意識の高揚であります。幸いにその第一歩である個人会費制度の導入においては、総会で役員及び評議員の同意を賜り、その後周知を図りましたところ、多くの会員皆様方の賛同を頂き、本来の基盤組織の確立が図られた、素晴らしい年となりました。

市文化協会が発足（平成十四年十月）して二年が過ぎた今、今までの五つの町の組織の上に上部団体（本部）を作り、下部団体としての支部組織を五つの旧五町の文化協会（五支部）が成すこと、つまり、今までの組



▶総会（5・16）のアトラクション
南川阿讃映太鼓の皆さん

織を生かしつつ、新しい組織としても機能するという方向が、間違っていない結果だと思えます。

一方、文化団体の所属部門については、音楽、芸能、文学文芸、民俗歴史自然科学、美術工芸、生活文化の六部門とし、部門毎に組織強化と活動の充実が図られています。

特に芸能部門では、市内全体の芸能団体が一堂に集まった発表会として、第一回さぬき市民芸能祭が一月二十三日に志度音楽ホールで開催されました。

また文学文芸部門では、第二回さぬき市文芸大会が長尾公民館で開催されています。

今後においては、音楽部門で第一回さぬき市音楽祭が六月二十六日に志度音楽ホールで、美術工芸部門では第一回さぬき市民美術工芸作品展を七月七日、十七日の間、志度構造改善センターで開催される予定となっています。

市からの補助金は、年を重ねる毎に減額されておりますが、当年度においては個人会費制度の導入による財源確保が図られたことから、各支部、各部門等の諸活動の充実が見込まれています。

事業

本部事業としての①組織強化

◀視察研修地（まなび広場にいみ）
新見文化交流館



②広報活動③諸活動支援の三つの事業においても充実、一定の成果があったと考えています。

特に昨年より継続の組織強化事業、そして将来的には文化施設の整備に向けた視察研修事業として、まず七月に高松市のサンプォートホールの視察、十一月には岡山県新見市の文化交流館・生涯学習センターの両施設と文化協会への視察研修、鳥取県立倉吉未来中心の施設研修を実施しました。

広報活動事業では、この広報はもろろんのことインターネット関連のホームページも開設しています。市文化協会の組織等を紹介するもので、全国からのアクセスも可能となっています。

アドレスは

<http://ew.sanuki.ne.jp/bunkakyo>
です。一度ご覧下さい。

また、イベント用の法被についても二〇着追加購入をしていますので、対外的な大きな催しにも対応できます。

諸活動支援事業では、昨年度の継続となる文学文芸部門支援事業として、吟行ポストの設置を旧長尾町に三か所実施しています。これは、俳句のみならず短歌や川柳等も投稿して頂けるようにし、『文化の香りのある』まちづくりを目指すものであり、これで市内の観光地八か所全てに設置が終わりました。

なお、支部活動、部門別活動、視察研修等の細部の報告については別の紙面で紹介されていますので、そちらをご覧ください。

市民文化祭

第三回さぬき市民文化祭が市内各地区で十月十一月の間に開催される予定でありましたが、季節はずれの台風二十三号による未曾有の災害により、全地区で中止と致しました。

共通の統一ポスターにして印刷、各地区の要所へ掲示すると共に五地区の催しを網羅した共通ちらしを作成して全戸配布、周知を図っていた矢先の中止であります。誠に残念な結果ではありましたが。

一年をかけて作品づくりに励んだ成果を展示して市民に見て頂くことも、苦しい練習を重ねて晴れの舞台で披露したい人も、準備万端で望んだ地区祭の各事務局等関係者の落胆は隠せない状況でありました。しかしながら、被害の大きさ、影響の広さはいまだに尾を引いていることで判断できません。

しかしながら、明るいニュースでは長尾地区の有志によるチャリティの展示会・芸能発表が十二月に行われました。これは任意に参加者を募り、作品一点につき三百円、芸能においては一人三百円の参加料を徴収して行われたもので、売上金を市社協に寄付したそうです。



▶手前右にある吟行ポスト（大串半島）